

平成30年度全国学力・学習状況調査

林間小学校の結果報告



※平成30年度全国学力・学習状況調査の問題については、右のQRコードからご確認できます。

今年4月に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。林間小6学年全体の大まかな結果についてお知らせします。今回の結果を受けて、今後の学習面・生活面の指導を充実させてまいります。

■全国学力・学習状況調査とは？

小中学生の学力や学習状況を把握するために文部科学省が実施する調査。平成19年度（2007）から、小学6年生と中学3年生の児童生徒を対象に行われています。内容は国語、算数の学力テストと、生活習慣・学習環境に関するアンケート調査からなります。学力テストは、基礎・基本的な知識・技能をみるA問題とその活用する力をみるB問題があります。普段、教室で行うテストとは違い、問題用紙と解答用紙は別となっています。なお、この調査により測定できるのはあくまで、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることに留意して結果を活用していきます。

■今年度の調査の結果

概 評 国語A問題及び算数A問題(主として知識問題)では、昨年度と比べて全国との正答率の差は小さくなってきていますが、国語B問題及び算数B問題(主として活用問題)では差が大きくなっています。理科は、昨年度実施なしで、比較データはありませんが、残念ながら全国との差が大きい状況です。

教科ごとの結果 全国平均と比べて特に目立った結果(主として±5ポイント程度の差があるもの)と今後の対策

【 国 語 】

◎ よくできていた問題

(A問題 第2問) 物語を書くときの構成の工夫について、説明として適切なものを選ぶ4択問題。

(A問題 第4問) ある児童が武鹿悦子さんの「くらやみ物語」を読んで心に残った箇所を選んだ理由を説明していると思うものを選択する4択問題。正解は、2で「景色や様子を表す表現から、主人公のいかりやくやしさが伝わってくるから」でした。

(B問題 第1問の3) あるクラスの学級会での話し合いの様子から、指定された条件(他の発言者の意見を引用すること。80文字以上100文字以内でまとめることなど)をもとに発言者の意見を自分の言葉で表現させる記述式問題。

▼ あまりよくできていなかった問題

(A問題 第8問) ある児童のノートで使われている5つの漢字と同じ漢字を選ぶ3択問題。

ア:「製造」→①「せい限時間」、②「新せい品」、③「せい理する」 正解は②。 イ:「設備」→①「もうける」、②「劇のやく」、③「なげる」 正解は①。 ウ:「消毒」→①「はぶく」、②「文字をけす」、③「紅組がかつ」 正解は②。 エ:「管理」→①「かん成した作品」、②「警察かん」、③「試験かん」 正解は③。 オ:「積極的」→①「面せき」、②「よい成せきを残す」、③「せき任の重い仕事」 正解は①。全体として、漢字を正しく選ぶ問題を苦手とする児童が多く見られました。

(B問題 第2問の1) 給食の献立である「かみかみあえ」を勧める文章の冒頭の段落が果たしている役割を選ぶ4択問題。

(B問題 第3問の2) ある児童が伝記「湯川秀樹」を読んで、最も心ひかれた一文とその理由を述べる文章が示され、その中の空欄を、指定された条件をもとに埋める記述式の問題で正しく書けた児童が少なかったです。

◎ 今後の対策は？

- ・国語の基礎基本である漢字の読みや書きをこれからも引き続きしっかり指導していきます。
- ・目的に応じて複数の本や文章を選んで読み、自分の考えをまとめる活動を取り入れていきます。
- ・正しい答えや自分の考えを決められた文字数の枠の中で書く活動を取り入れていきます。

【 算 数 】

◎ よくできていた問題

(A問題 第4問の1) 右の表で「面積が同ジアとイの二つのシートの混み具合について正しいものを選ぶ3択問題 1:「アのほうがこんでいる」 2:「イのほうがこんでいる」 3:「どちらもこみぐあいはおなじである」 正解は「2」。
 (B問題 第2問の2) 玉入れゲームで、1回のゲーム時間を3分にするための玉を投げる時間をどの位にすればよいか、表に表して求める問題では、全国と比べて5ポイント近く上回っていました。

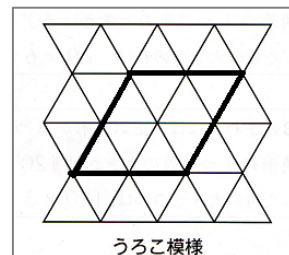
すわっている人数とシートの面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ア	6	4
イ	9	4

▼ あまりよくできていなかった問題

(A問題 第7問) 円周率を求める式として正しいものを選ぶ4択問題。正解は、「3」で「円周の長さ÷直径の長さ」ですが、基本的な公式の理解が徹底できていない実態が分かりました。

(B問題 第1問の1) 右の合同な正三角形が敷き詰められた「うろこ模様」という図形で、正三角形が4つでできる図形として正しいものを選ぶ4択問題。正解は、「平行四辺形」です。



(B問題 第4問の1) 「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを分配の法則を用いた式に表す問題。正解は、この式。 $32+40=4\times 8+5\times 8=(4+5)\times 8=9\times 8=72$

◎ 今後の対策は？

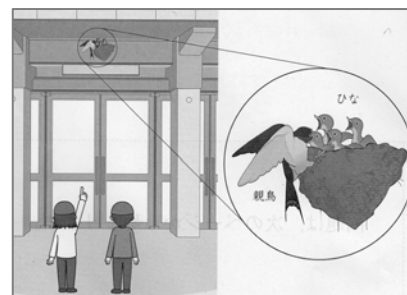
- ・少数の除法の意味理解、円周率を求める公式など基本的な事項について、繰り返し指導していきます。
- ・図形の問題で理解が不十分な面があるので、視覚的な指導や具体物を使った指導により理解を深めていきます。
- ・活用の問題が苦手なので、算数の学習と生活とのつながりを常に意識させながら指導していきます。

【 理 科 】

◎ よくできていた問題

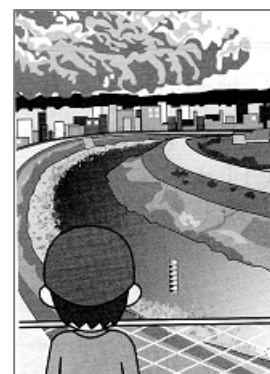
※理科はA問題、B問題が混合されています。

(第1問の1) 右の絵で、野鳥の鳥の巣を見つけた時、安全に気をつけてひなのようすを観察するための正しい方法を2つ選ぶ選択問題。正解は、2の「棒につけた鏡をつけて親鳥がいない間に観察」と4の「ビデオカメラで録画する」でした。
 (第3問の4) 目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の一日の位置の変化に合わせ箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ4択問題。



▼ あまりよくできていなかった問題

(第1問の3) 鳥のつばさと人間のうでの骨のつくりを比べる問題で、「うでを曲げたりすることができる骨と骨とのつなぎ目のことを何といいますか。そのことばを書きましょう」という問いに、「関節(かんせつ)」と書けていた児童がとても少なかったです。
 (第2問の4) 右の絵にあるように学校の屋上から空を観察していると、雨雲が近くを流れる川の上流の方にあるのが分かりました。この後の川の水位(水面の高さ)がどのように変化するか、気象レーダーや川の水位の変化などのデータをもとに、次の4つから2つ正しいものを選ぶ問題。1:「上流で雨が降り始めると同時に、水位は高くなる」、2:「上流で雨が降って1～2時間水位が高くなる」、3:「上流で雨がやんでも、水位は1～2時間では変わらない」、4:「上流で雨がやむと同時に、水位は元にもどる」 正解は、2と3です。



(第4問の1) 400mlの水に12gの食塩をとかしたときにできた食塩水の重さは何gになるのかという問題。正解は、412g。

◎ 今後の対策は？

- ・生物や自然現象の観察をじっくりと行わせ、その結果について相互に意見交換をすることで考察を深めさせていきます。
- ・他の教科とも関連させながら、図書館やインターネットを使って調べる学習を推進していきます。
- ・実験結果を表やグラフなどに表したり、完成した表やグラフを読み取ったりする活動を繰り返し指導していきます。
- ・教科書で学ぶ事柄と生活で経験している事柄の結びつきを理解させ、自らの生活を改善しようとする姿勢を育てます。

生活習慣・学習環境に関するアンケート調査（質問紙）の結果 全国平均と比べてプラス＝◎、マイナス＝▼

アンケート調査は、児童の自己評価で質問項目は、全部で62問。(昨年度は92問)ここでは、①学習および学校生活について、②生活習慣および家庭生活について、③自分および社会に関する関心や規範意識に分けて示していきます。

【学習および学校生活についての項目】 ※枠の中の()はアンケートの質問番号を示す。上位ほど顕著な傾向。

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(62) 調査の時間は十分でしたか(理科) (45) 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明している (19) 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と係わったりする機会があったか (47) 観察や実験を行うことは好きか	(28) 算数の勉強は大切かと思うか (39) 理科の勉強は大切かと思うか (2) 先生はあなたの良いところを認めてくれるか (33) 算数で学習したことは将来、役に立つと思うか (43) 理科で学習したことは将来、役に立つと思うか

◎(62)(45)(47)は、理科に関係している内容であり、興味をもって学習できていると考えられます。また、(19)は、本校6年児童は、昨年度5年の時に総合的な学習の時間で「防災」について近隣の自治会の方から話を聞いたり、防災倉庫を見学させていただいたりした経験が影響していると思われます。

▼学習内容を自分にとって大切と考えたり、将来役に立つと判断したりする児童が少ない状況が伺えます。今後は授業中や生活指導の中で、学習と生活とのつながりを意識して指導したり、人生の中で学ぶことの価値を伝えたりする取り組みを行っていきたくと考えます。(2)については、真摯に受け止め、児童とのコミュニケーションを図っていきます。

【生活習慣および家庭生活についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(14) 学校の授業以外に、普段(月～金)、一日あたりどれくらいの時間、勉強しているか(学習塾や家庭教師も含む)	(12) 家で学校の授業の予習・復習をしているか (8) 毎日、同じくらいの時刻に寝ているか (7) 朝食を毎日食べているか

◎(14)では「一日3時間以上勉強」の割合が全国平均より4ポイント近く上回っていますが、一部にとどまっています。

▼(12)は、全国平均より13ポイントも低くなっています。本校では「ふたばノート」での家庭学習を推進していますが、自主学習は大変熱心に取り組んでいる児童が多い一方、予習・復習を行うという意識が弱いのかかもしれません。今後は、幅広い家庭学習が展開できるよう指導していきます。また、睡眠や朝食についてもご家庭の協力をいただきながら、生活指導を進めていきます。保健や学級指導などでも、基本的な生活習慣の大切さについて指導していきます。

【自分および社会に対する関心や規範意識についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(1) 自分には、よいところがあると思う (26) テレビのニュース番組やインターネットニュースを見るか	(23) 地域社会等でボランティア活動に参加するか (5) いじめはどんな理由でもいけないことだと思う (20) 今、住んでいる地域の行事に参加するか (3) 将来の夢や目標を持っているか

◎(1)は、全国平均より4ポイント以上上回っています。自己肯定感が高いことは、とても好ましいことだと考えます。(26)は、社会に対する関心の高さを示しています。

▼(23)は、昨年度に続き20ポイント弱低くなっています。(20)とも関連して、実際には本校の児童はかなりお祭りやふれあい広場などに参加していると思うので「地域の行事に参加」の意味をその都度確認していきたいと思います。(5)のいじめについては、ほとんどの子どもは絶対いけないものと考えていますが、残りの30%の児童が「絶対とは思わない」と答えています。今後は100%を目指し、道徳・人権教育の充実を図っていきたくと考えています。(3)も大切な要素ですので、自分の人生について思いを馳せるような機会を多く設定していきたいと考えています。